

# 里山ハイク 愛宕山 2021.1.20

## 【コース】

高槻 (7:57) — 京都 — (8:54) 保津峡 (9:10 発水尾自治会バス) — 水尾別れ道との分岐 — 裏参道巻道 —  
— (11:00) 表参道に合流 — (11:10) 愛宕神社 — 昼食 (11:50) — 月の輪寺コース分岐 — 大杉谷分岐 —  
— スカイライン道分岐 — (スカイライン道) — (13:00) 表参道に合流 — 水尾別れ — (13:43) 荒神峠 (13:53)  
— ツツジ尾根 — 14:43 下山

【歩行距離】 8 km      【歩行時間】 4 時間 42 分      【総時間】 5 時間 20 分      【メンバー】 3 人



水尾登山口



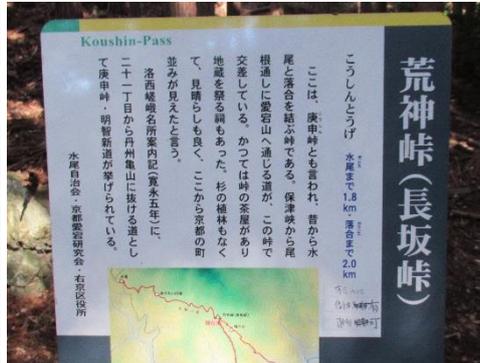
表参道に合流する





スカイライン出口

表参道に合流



荒神峠

ツツジ尾根登山口

保津峡から水尾までは水尾自治会のバスを利用。他に5人の中高年グループと乗り合わせました。小学校跡を過ぎ、小さな橋から登山道に。「農道行き止まり」の標識が立っているところが裏愛宕道への分岐で、バスに乗り合わせたグループも私たちと同じ道に入りました。期待した雪はなく、上に行ってもザラメを振りまいたくらい雪しかなく、残念。2017年1月には第2、第3ベンチが雪に埋もれていて、分かりませんでした。この道は標高差600mあるのですが、なだらかに高度を上げていくので、そんなに疲れなく1時間30分で表参道に出ました。

灯籠、枯れ枝はうっすらと雪化粧し、-5℃の冷たい空気が張り詰めていました。

昼食後、月の輪寺コースから大杉谷コースへ。大杉谷は昨日から誰も入っていない様で、足跡はなく、スカイラインコース入口を慎重に探し、道幅30cmぐらいの道があったので、その巻道に入りました。兎らしき小動物の足跡がついています。道幅は狭く、だんだん歩きにくくなってきました。表参道を巻いているのだからという安直な気持ちで入って行ったのですが、ついに行く手を阻まれました。周囲を探索していたHさんが数m下の方に道があるのを見つけ、雑木が生えているところを慎重に下りていくと、幅70~80cmほどのしっかりとした道が現れました。拍子抜けです。あとは道なりに歩いて、花売り場下の表参道に出ました。帰宅後調べると、あと40mくらい歩いたところに分岐があったようです。調査不足でした。

「清滝へ」の看板がある所から南に延びる尾根を経て荒神峠を目指しました。峠直前の標高差100mの急坂が長く感じました。ツツジ尾根はなだらかで、愛宕山が見える所もあって、ほっこりと歩けました。

(記・Sasaki)